

こさい

議会だより

No.175

9月定例会

平成28年10月31日発行

「議会だより」は、あなたと議会を結ぶ情報誌です。

- 2 豊田佐吉翁を湖西市名誉市民に決定
- 7 そこが聞きたい!!一般質問
- 12 視察の成果を市政に生かします

豊田佐吉翁を 湖西市名誉市民に決定

◆議案一覧◆

議案番号	内容
64	湖西市名誉市民の決定につき同意を求めることについて
65	湖西市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
66	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
67	湖西市梶田多目的運動広場条例制定について
68	湖西市議会議員及び湖西市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について
69	湖西市税条例等の一部を改正する条例制定について
70	湖西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
71	湖西市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
72	湖西市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について
73	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
74	平成28年度住吉地区命山整備工事の契約締結について
75	市道の路線の認定について
76	平成28年度湖西市一般会計補正予算(第2号)

議案第64号 豊田佐吉翁を名誉市民に

「湖西市名誉市民の決定につき同意を求めることについて」を全員賛成により同意した。

この条例は、豊田佐吉翁の生誕150年を機に、郷土の偉人に名誉市民の称号を贈ろうとするものであった。氏の唱えた「報恩・創造」の精神は、湖西市少年少女発明クラブや豊田佐吉翁顕彰祭、豊田佐吉翁記念奨学金などの様々な活動を通じ、今なお湖西市に生き続けており、その遺徳を顕彰し、後世に広く伝えていこうとするものである。



▲豊田佐吉翁

慶応3年(1867年)、現在の湖西市山口に生まれる。

母が苦勞しながら布を織る姿を見て、「もっと楽に織れる織機を發明したい」と決心し、發明家へ

◆議会の概要

〔8月30日〕9月定例会が招集され、開議に先立ち、平成27年度湖西市財政指標について報告を受けた。開議後、会期を9月30日までの32日間と決め、市長提出23議案のうち、人事案件3議案を同意し、その他の議案について説明を受けた。そのうち平成27年度一般会計決算については、決算特別委員会に付託した。〔9月4日〕5人の議員が一般質問を行った。

の道を進んだ。

明治23年には、従来の織機よりも4〜5割速く布を織ることのできる「豊田式木製人力織機」を發明。その後も数々の發明と多くの作品を生み出し、「日本の偉大なる發明家10人」にも選ばれている。



▲豊田式木製人力織機

◆人事案件 (議案第65号、66号)

◆教育委員会委員
任期満了となる袴田雄司氏(岡崎)を引き続き選任することに同意した。

◆人権擁護委員

任期満了となる外山 宏氏(鷺津)を再任すべく推薦することに同意した。

〔9月9日〕5人の議員が一般質問を行った。

〔9月12日〕4人の議員が一般質問を行った。

〔9月13日〕議案に対する質疑を行い、12議案を原案のとおり可決し、条例の制定及び平成27年度一般会計決算を各常任委員会に付託した。

〔9月30日〕常任委員会・特別委員会に付託した条例の制定及び平成27年度一般会計決算の計8議案の委員長報告を行い、可決・認定した。その後、市長から追加提出された一般会計補正予算1議案を可決し、9月定例会を終了した。

議案第76号・第87号

一般会計補正予算を可決

平成28年度一般会計補正予算(第2号)を全員賛成、(第3号)を賛成多数により可決した。

補正(第2号)では予算額を7,482万3千円増額し、最終日に追加提出された補正(第3号)では予算額を945万円増額し、総額は219億5,428万8千円となった。

補正(第2号)の主な内容

【歳出】

●財政管理費

ふるさと納税寄附金をふるさと応援基金に積み立てるため、積立金を増額

2,480万円



87	平成28年度湖西市一般会計補正予算(第3号)
86	平成27年度湖西市病院事業会計資本金の額の減少及び決算の認定について
85	平成27年度湖西市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
84	平成27年度湖西市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
83	平成27年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
82	平成27年度湖西市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
81	平成27年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
80	平成27年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について
79	平成28年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
78	平成28年度湖西市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
77	平成28年度湖西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

審議結果については、全議案を原案可決(人事案件の「同意」・決算の「認定」を含む)した。
賛否が分かれた議案についてはP6を参照。

健康増進費

B型肝炎ワクチンが平成28年10月から定期接種化されることに伴い、委託料を増額

610万円

◆本会議での質疑◆

ふるさと応援基金の増額

理由と、平成28年度の最終的な予測は。

答

平成28年3月31日までに寄附された寄附総額から、返礼品などの必要経費と平成27年度中にすでに基金に積み立てた2億4千万円を差し引いた残額を積み立てるためである。平成28年度は、寄附件数・寄附額ともに平成27年度を下回るペースであり、現在の状況からは、平成27年度の5割の約3億円程度になると推測される。

問

B型肝炎ワクチン予防接種の対象者や自己負担の有無、対象者への広報方法について伺う。

答

対象者は平成28年4月1日

以降に出生した生後1歳までの乳児で、費用の自己負担はない。なお、対象年齢以外でも接種可能であるが費用は自己負担となる。対象者へは、赤ちゃん訪問時に保護者へ説明し周知しているが、ウェブサイトや広報こさいでも広くお知らせしていく。

議案第80号～86号

平成27年度各会計決算を認定

平成27年度一般会計決算・特別会計・企業会計の決算審査を行い、認定した。なお、一般会計決算審査については、決算特別委員会を設置・付託し、2日間にわたり審査を行った。

委員長 ● 馬場 衛

副委員長 ● 島田正次

委員 ●

- 福永桂子 菅沼 淳
- 土屋和幸 高柳達弥
- 楠 浩幸 佐原佳美
- 渡辺 貢 吉田建二
- 加藤弘己 竹内祐子
- 荻野利明 豊田一仁
- 中村博行 神谷里枝

また、国民健康保険・後期高齢者医療事業決算については総務経済委員会に、介護保険・病院事業決算については福祉教育委員会に、公共下水道・水道事業決算については建設環境委員会に付託し、審査を行った。

(単位：円)

平成27年度各会計決算

会計区分	決算額	
	歳入	歳出
一般会計	22,447,487,438	21,061,060,852
特別会計	国民健康保険事業	6,975,514,777
	介護保険事業	3,697,922,596
	後期高齢者医療事業	558,589,765
	公共下水道事業	1,765,930,142
企業会計	収益的収入	収益的支出
	1,280,433,479	1,115,809,375
	資本的収入	資本的支出
	7,208,000	429,653,697
	収益的収入	収益的支出
	3,149,036,696	3,491,377,220
	資本的収入	資本的支出
	482,988,000	483,583,071

決算特別委員会の審査

〔歳入〕

ふるさと納税にかかる経費は。

答

納税額約6億5,220万円に対し、事務経費は約3億8,740万円であった。その内訳は、返礼品代が3億1,811万円、返礼事務などを行うふるさと納税支援会社への委託料が6,072万円、クレジット決済に係る費用が612万円、パンフレットなどの郵送にかかる費用が101万円、専用封筒の印刷・消耗品・臨時職員の雇用にかかる費用が144万円であった。

〔歳出〕

問

豊田佐吉翁生誕150年記念事業について、継続していく事業は。

答

日めくりカレンダーと豊田佐吉物語の英訳本の販売である。また、日めくりカレンダー

は小学校の、英訳本は中学校の卒業記念品として、毎年配布していきたい。

問

コーちゃんバスについて、苦情と課題は。また利用者数の少ない路線の評価は。

答

「通学に利用する子どもが座れない」「使い勝手が悪い」などの苦情が寄せられており、料金体系の見直し、土日祝日運行の検討などが課題と考える。利用者数の少ない路線については、費用対効果を考えると大変残念に思うが、湖西市地域公共交通網形成計画の中で、路線の改廃、運行方法の見直しなどを図っていきたい。

問

市民活動センター運営業務の内容を、どう評価するか。

答

事業のねらいとニーズが、事業目的に合致していない部分があると考える。今後への継続性をもたせるような仕掛けや、ニーズの把握方法など、それぞれの事業で検討していく必要がある。

問

児童相談事業の件数が増えているが、相談員2名という体制は適当であったか。

答

相談件数1,352件は、家庭児童相談室で受けたもののほか、児童相談所などの関係機関での相談、面談、電話相談の件数が含まれている。相談体制については、2名の相談員を核に、関係機関と緊密な連携がとれており、適当なものと考えている。

問

火葬件数に対し、入出火葬場に対する委託料が、やすらぎ苑と比べ割高となっている理由は。

答

火葬予約の有無に関わらず、施設の管理上、職員が待機する必要があり、ことから人件費が生じる。そのため、火葬件数で割り戻すと、入出火葬場は割高傾向となってしまう。また、入出火葬場では、委託内容に施設の清掃や除草作業を含んでいるが、やすらぎ苑の委託には含まれていないことも要因である。

問

大気測定の数値が上がっているが、分析と対応はどのように行ったか。

答

測定地点周辺には、廃棄物処理業者や工場の煙突が複数存在するため、原因者の特定には至っていない。測定結果を踏まえ、静岡県・豊橋市・湖西市とで情報収集・情報交換のための連絡会を実施したほか、周辺の事業所への豊橋市の立入検査に同行し、適正な運転管理が行われているか確認を行った。

問

経験や技術をもつシニア人材と企業のマッチングを行うものづくり人材交流事業の実績と成果は。

答

平成27年度から、湖西地域職業訓練センター内にもものづくり人材交流センターを設置し事業を展開しているが、無料職業紹介の許可取得が平成28年2月1日であったため、平成27年度内の就職実績はない。事業実績として、求人および求職情報を管理するデー

データベースの構築、企業案内用冊子の作成、シニアの再就職をテーマとしたシンポジウムの開催が挙げられる。

問 遊休農地の状況は。

答 平成27年度は、毎年調査を行っている土地改良を実施した土地886ヘクタールのほか180ヘクタールを加えた調査対象1,074ヘクタールのうち、遊休農地は104.7ヘクタールであった。毎年調査分の886ヘクタールに占める遊休農地の割合は、4.5%で横ばいである。

問 新所原駅周辺まちづくり研究会における運営補助作業の内容は。

答 研究会の日程調整や会場確保、検討に必要な情報収集と資料作成、活動状況をPRする研究会だよりの発行のほか、平成28年度実施予定の新所原駅南北自由通路および橋上駅舎完成式典にて、研究会として協力できるイベント候補の洗い出しと、実施にあたって

の課題整理を行った。

問 公共下水道会計への繰出金の内訳は。

答 下水道の運営などを行う総務管理費に3,094万6千円、浄化センターなどの管理費に4,612万8千円、職員の人件費として7,620万1千円繰出している。委託料や工事請負費などの整備事業費への繰出しはなしが、借入金元金償還金に4億9,129万4千円、利子償還金に2億1,799万円を繰出しており、繰出金に占める償還金の割合が約82%となっている。

問 消防団員数の充足状況は。また団員の勤務地などの状況は。

答 平成27年度末時点の団員数は374名で、条例定数387名に対する充足率は、約97%である。勤務地については、市内が約80%、市外が約20%であり、就業形態については、社員が約79%、自

営業が約12%、主婦などその他が約9%となっている。

問 地域防災指導員の活動成果と課題は。

答 地域防災指導員が講師となり、資機材講習会や出前講座を18回実施しており、自主防災会の育成や、市民の防災教育の充実が図られたと考えている。また、課題は、指導員の経験や知識に差があり、養成には時間がかかること、指導員のいない自治会へのアプローチなどである。

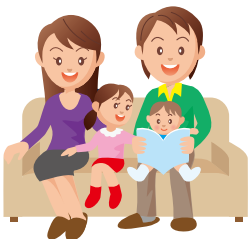
問 いじめ対策連絡協議会の開催は十分か。また当市のいじめ対策の概要は。

答 協議会では、具体的な事例について意見交換を行い、効果的な対応を検討した。開催は1回だが、協議会の内容に準じた生徒指導に関する研修会を3回開催し、目的は果たせていると認識している。当市のいじめ対策は、開発的・予防的な生徒指導に力点を置き、いじめを出さない雰囲

気・風土づくりを行うことと、日ごろの観察・日記指導・アンケートなどを通して情報収集を行い、発見時には学校を挙げて対応する早期発見・早期対応が大きな柱である。また、教育委員会では、月例報告で各校の実態を把握し、必要に応じて指導・助言を行っている。

問 生後6カ月の赤ちゃんとその保護者を対象に、おすすめの絵本を紹介しプレゼントするブックスタート事業の配布率が低下した理由と対応策は。

答 第2子以降で、参加しなくてもよいと判断されるケースや、対象者に占める外国人の割合が増えているが、その参加者が減っていることが、配布率低下の原因と考える。対応としては、未参加者に対し、再度案内通知を発送している。



公共下水道事業特別会計
決算を認定

平成27年度湖西市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算を全員賛成により認定した。

◆委員会での質疑◆

問 分担金及び負担金による歳入が、平成26年度から3,627万5千円、52・0%と大きく減少しているが、その要因は。

答 平成26年度は、平成24年度の整備面積17ヘクタールに対し受益者負担金を賦課したが、厳しい財政状況の中、平成25年度は整備面積の拡大が行えなかったため、平成27年度の賦課面積が8・1ヘクタールと大きく減少した。これに伴い、受益者負担金が大きく減少したものである。

湖西市病院事業会計の資本金の額の減少及び決算を認定

平成27年度湖西市病院事業会計

資本金の額の減少及び決算を賛成多数により認定した。

◆委員会での質疑◆

問 資本金を328万5,199円減少させる理由は。

答 資本金は現金のほか病院事業用地などの資産を計上する項目であるが、今回、防災対策として病院事業用地の一部に救護所用資機材倉庫を設置したこと、倉庫を設置した土地の部分を病院事業用地から除外処理を行う必要があるため、土地の評価額分を減少するものである。

問 療養病床への改修費用と内訳は。

答 税抜き費用で建物修繕が3,059万1,500円、設備修繕が2,570万8,500円、医療機器修繕が260万円、産業廃棄物処理料が38万3,500円、図面の作成・修繕施工監理などの手数料が60万7千円であった。

賛否が分かれた議案一覧表

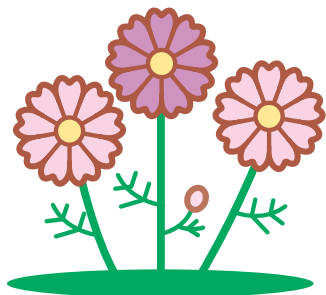


議案番号・議案名	結果	福永	菅沼	土屋	高柳	楠	佐原	渡辺	吉田	加藤	竹内	荻野	豊田	島田	馬場	牧野	中村	神谷	二橋	
		桂子	淳	和幸	達弥	浩幸	佳美	貢	建二	弘己	祐子	利明	一仁	正次	衛	孝二	博行	里枝	益良	
議案第68号 湖西市議会議員及び湖西市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号 湖西市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号 平成27年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号 平成27年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号 平成27年度湖西市病院事業会計資本金の額の減少及び決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号 平成28年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(二橋益良)は採決に加わらない。

そこが聞きたい!!

一般質問



一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今9月定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。

湖西市公式サイト

市ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

<http://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市HP

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)

三上市政3期12年でやらなかった事、やれなかった事は

▶▶▶ もっとも反省しているのは病院改革である

●3期12年の総括について

問 三上市政3期12年でやらなかった事、やれなかった事は。

答 できなかった事の中で、もっとも反省しているのは病院改革である。平成28年7月に新たに発足した病院改革委員会の中には、自ら出向いてお願いした人物が2名おり、この委員会から良い提案をしていただけたと考える。

●市長選挙について

問 どのようなつもりで広報こさいに選挙についての記事を載せたのか。また、どのようなつもりで自分が推す人物の名前を書いた残暑見舞いを出したのか。

答 8月の広報こさいでは一般論を述べただけであり、市長選でどちらかの人物を推すという事は書いていない。また、後援会長との連名で出した挨拶状は、「この人物を知っていただきたい」という意味であり、後援会としての挨拶のつもりであったため、公職選挙法は特に意識していなかった。今後は気を付けたい。



島田 正次



▲市立湖西病院

市内の小中学校の大便器の和式・洋式の比率は

▶▶▶ 洋式が小学校では24%、中学校では51%である

●学校の常設トイレの改修について

問 市内の小中学校の大便器の和式・洋式の比率は。またシャワートイレの設置数は。

答 洋式が小学校では総数395基のうち96基で24%、中学校では総数314基のうち161基で51%である。シャワートイレについては、身障者用トイレを設置している学校で、洋式21基のうち19基である。

●三上市長就任後の犯罪減少について

問 防犯カメラの設置状況と、今後の設置計画は。

答 市の22施設で必要と認められる所に、各所管部署による設置を92台確認している。今後の計画については、映像の不適切な取り扱いにより、個人のプライバシーが侵害される恐れがあるため、慎重に対応したい。



加藤 弘己





渡辺 貢

道路を含む地区全体に、地籍図と現地の不一致が見られるケースがあるが、どう思うか

▶▶▶ 容易に変更することが難しく、関係地権者間での話し合いが最善の解決策と考える

● 法務局に届けられている地籍調査の成果による地図（地籍図）に関するトラブルへの対応について

問 道路を含む地区全体に、地籍図と現地の不一致が見られるケースがあるが、どう思うか。

答 同様の事例が過去にあり、法務局へ相談をしたが「不動産登記法第14条に規定する地図であることから、容易に変更することが難しい」とのことと解決して

いない。関係地権者間での話し合いが最善の解決策と考える。

問 今後の地籍調査への取り組み方針は。

答 地籍調査は昭和51年度から休止している。再開には、予算と職員配置を強化する必要があり、予算編成時にあらためて考える問題である。



松山茶屋松線の進捗状況と、今後の整備計画は

▶▶▶ 平成29年5月の完了に向け、都市計画道路のルート変更手続を進めている

● 湖西市都市計画道路等、道路整備の進捗状況について

問 松山茶屋松線の進捗状況と、今後の整備計画は。

答 都市計画道路のルート変更に関する協議を進めており、平成29年5月に変更手続の完了を予定している。現場では、地質調査を実施しており、平成29年度以降、道路の詳細設計、用地補償調査、用地買収などを実施していく。

問 新居斎場進入道路の進捗状況は。

答 平成27年度から土地の買収を進めており、地権者30名中、契約完了が26名で、内諾1名を除いた残り3名と、交渉を継続している状況である。



馬場 衛



計画変更予定の松山茶屋松線▶



楠 浩幸

「移住・定住」紹介の進捗状況は

▶▶▶ 市のウェブサイトやパンフレットの配布・PRを予定している

● 新・湖西市総合計画 基本計画の見直しについて

問 「移住・定住」紹介の進捗状況と「空き家バンク」の登録状況は。現状分析と先進事例を踏まえ、今後どのように対応するのか。

答 「移住・定住」紹介は、従来のメニューに加え、より具体的に湖西市をイメージしていただくため、平成28年4月に、市の立地、施策、観光情報などを市のウェブサイト追加した。平成29年1月に東京で行われる「ふじのくにに住みかえるセミナー」

にて、「移住・定住パンフレット」の配布・PRを予定しており、市内企業の就職相談会などでもパンフレットを配布し、企業と連携しながら、ひとりでも多く市内への就職と定住を促していきたいと考えている。

「空き家バンク」は、提供希望者から3件、利用希望者から2件の問い合わせがあったが、登録・契約には至っていない。今後は、今までに増して制度の周知を図り、登録物件については、移住・定住を誘導できるよう、不動産情報に加え、移住者の興味をそそる地域の特色や魅力を市内外に発信していきたい。





吉田 建二

豊橋湖西線の振り替え路線として南部幹線を整備することとした事情は

▶▶▶ 土地区画整理事業と合わせた整備から単独の道路事業へ方針変更したため

● 主要地方道豊橋湖西線の早期整備に向けた取り組みについて

問 今後の方針として、現道にはあまり手をかけず、振り替え路線として南部幹線を県事業で整備していくと聞いているが、どのような事情からそうなったのか。

答 南部幹線については、当初は土地区画整理事業と合わせて整備を行う計画であったが、平成25年に道路事業として行うよう方針が変更された。そのため、豊橋湖西線の代替を担う道路として、

静岡県に早期に整備してもらおうよう要望することとした。

問 市の道路整備計画では、南部幹線はどのような位置づけになっているか。また、整備について市の方針は。

答 市内の東西軸として重要な路線と位置づけている。整備方針については、都市計画道路の再検証作業において、現計画を継続する方針を打ち出し、実施について静岡県へ要望しているところである。



▲ 主要地方道豊橋湖西線

男女共同参画推進条例の理念に対する取り組みは

▶▶▶ 講演会や講座の実施、広報・啓発活動を通して促進している

● 男女共同参画について

問 男女共同参画推進条例に定められた主要な理念に対する取り組み状況は。

答 条例の基本理念は第3次湖西市男女共同参画推進計画の基本目標として掲げている。重点目標である「男女の人權の尊重」「男女が対等に参画する機会の確保」「家庭生活と社会生活の両立」について、講演会や講座の実施、広報・啓発活動を通して男女共同参画を促進している。

● 湖西ブランドについて

問 郷土料理の販売戦略の中に、特色のあるアイデアはあるか。

答 湖西市観光振興協議会やふるさと納税返礼品のウェブサイトでの紹介、浜名湖観光圏や井伊直虎関連のイベントでのPRを行う。また、新所原駅を浜名湖周遊・西の玄関口と位置づけ、駅を活用したPRも考えていく。



竹内 祐子



荻野 利明

就学援助制度の拡充の考えは

▶▶▶ 平成29年度から生徒会費・体育実技用具費を支給予定

● 子どもの貧困対策について

問 就学援助制度について、準要保護の基準、現在支給されていないPTA会費や生徒会費などについて見直しを行い、制度を拡充する考えはあるか。

答 拡充の方向で検討しており、児童・生徒が直接学校教育活動を行う際に必要となる項目である生徒会費・体育実技用具費について、平成29年度から支給したいと考えている。限られた予算の中で多くの方に援助が行き渡るよう、現在の支給項目を含め精査していきたい。

● 障害者優先調達推進法により調達拡大を

問 障がい者就労施設などが供給する物品について、市からの調達実績を伸ばすための取り組みは。

答 市内の障がい者就労施設と供給可能な物品の種類を増やしてもらうなど協議やお願いをするとともに、庁内に対してさらに周知や協力要請をしていきたい。





福永 桂子

小中学校の照明のLED化について環境省のモデル事業 を利用する考えは

▶▶▶ 交付金を活用して対応する考えである

● 子育てしやすい環境整備のための教育 施設の改善について

問 小中学校の照明のLED化について、環境省の「地域経済と連携した省CO₂化手法促進モデル事業」を利用して実施する考えは。

答 平成28年度の公募は終了しており、今後の継続についても不明である。小中学校の照明LED化については、老朽化対策事業として設備改修を実施する場合の「学校施設環境改善交付金」を活用して対応したい。



▲LED照明を使用した事務室

● 豊田佐吉翁生誕150年記念事業 「佐吉道場構想」について

問 佐吉道場構想の中の拠点施設「佐吉の郷」整備の構想イメージはどのようなものか。

答 佐吉記念館・生家を中心に、南は山口観音堂から、北は職業訓練センターまでをエリアとしてイメージしている。佐吉翁が築き上げた産業の発祥地としての魅力、生家及び記念館の観光地としての魅力、山口地区の緑豊かな魅力などが盛り込まれた構想である。

赤字解消のため、病院事業管理者と病院長の兼務を解消する考えは

▶▶▶ 赤字の主な要因は医師不足であり、兼務を解消する考えはない

● 湖西病院の健全経営について

問 市からの繰出金10億円以内で黒字化できるよう、赤字解消のために現在の病院事業管理者と病院長の兼務体制を変えるつもりはないか。

答 湖西病院が赤字となっている主な要因は医師不足であると考えており、管理者と病院長の兼務を解消する考えはない。

問 いつまで赤字を続けるつもりか。

答 出来るだけ早期に解消したいと考えているが、常勤医師の増員などにより入院患者数が増加するまでは厳しい状況が続くと予測している。



中村 博行



牧野 考二

耐用年数が経過する市庁舎や消防庁舎などの公共施設 について、10年・15年後の構想はあるか

▶▶▶ 策定予定の公共施設再配置計画などで、建て替え計画を明らかにしていきたい

● 湖西市のグランドデザインはどの様 になっているか

問 耐用年数が経過する市庁舎や消防庁舎などの公共施設について、10年・15年後の構想はあるか。また次期市長への道しるべはどのように考えているか。

答 市の庁舎・消防庁舎の耐用年数を50年とした場合、およそ10年後に耐用

年数を経過することになるが、建設の資金及び場所を検討しなければならない。市民会館の再築も含めて、平成28年度策定予定の公共施設再配置計画、平成29年度策定予定の公共施設の個別計画の中で、建て替え計画を明らかにしていきたい。道半ばのため、道しるべとして示し、次期市長にしっかりと引き継ぎたい。



▲湖西市役所



佐原 佳美

湖西市防災会議委員に、母子ケアのできる助産師を加える考えはないか

▶▶▶ 今後、委員へ加えるか研究したい

● 女性の視点を生かした安心な避難所運営について

問 湖西市防災会議委員に、母子ケアのできる助産師を加える考えはないか。

答 現時点では、湖西市医会の会長が湖西市防災会議委員となっていることから、助産師を加えていない。今後は、意見を踏まえ、助産師を委員へ加えるかを研究したい。

問

救護病院の担当業務に「助産」が記載されているが、対応できるのか。

答

湖西市医療救護計画には救護病院の担当業務の一つに助産とあるが、市内の病院では対応できない状況である。しかし、静岡県広域災害・救急医療情報システムにより、災害拠点病院などの受け入れ可能病院が照会できるため、搬送が必要な場合は、このシステムを利用して、搬送を行うこととなる。



地震・津波対策事業の本年度の取組状況は

▶▶▶ 住吉地区命山の建設着工、日ヶ崎地区津波避難タワーの設計と用地買収を進めている

● 地震・津波対策の取り組みについて

問

地震・津波対策事業の平成28年度取組状況と今後の見通しは。

答

住吉地区命山の建設着工、日ヶ崎地区津波避難タワーの設計と用地買収を進めている。住吉地区命山は平成29年度末の完成を、日ヶ崎地区津波避難タワーは平成29年度着工・完成を予定している。静岡モデルについては、静岡県が上田町特定利用斜面保全事業をスタートし、掘削した土砂を住吉地区命山で利用できるように準備を進めており、今切口防潮堤についても平成28年度から工事が始まる。

問

災害時の避難所運営における市の役割は。

答

発災当初より避難所運営は、自治会や自主防災会で行っていただき、市対策本部は、避難所でのニーズの拾い上げや市からのお知らせを伝達する連絡員を派遣し、避難所の運営支援を行う。

その他の質問

● 湖岸防潮堤の整備について



高柳 達弥



住吉地区命山(イメージ図)▶



土屋 和幸

地域活動支援センターの設置予定は

▶▶▶ 来年度の開設に向け、準備している

● 障がい者支援について(地域活動支援センター設置、相談業務)

問

地域活動支援センターの必要性について、どのように認識しているか。また、設置の予定は。

答

現在、湖西市には設置されていないため、浜松市の地域活動支援センターに委託している。精神保健福祉手帳所持者も増加傾向であり、設置の必要性は感じているため、平成29年度の開設に向け準備を進めている。

問

精神障がい者に対する相談業務は、民間委託1カ所、障がい者相談業務は週2回であるが、足りているか。

答

相談件数は年々増えており、障がい児者相談については相談日以外のメール相談も増加している。また、市担当者への相談内容も専門性が必要とされる傾向にあるため、障がいの種別にこだわらない相談所を健康福祉センター内に常設し、市の関係部署と連携し充実した対応のできる体制にしていきたい。



▲地域活動支援センターはまかせ(浜松市)

視察の成果を 市政に生かします

より良い湖西市を目指して、先進的な取り組みを行っている他自治体へ視察を行いましたので、報告いたします。



建設環境委員会

7月28日～29日

線引き(区域区分制度)廃止だけでなく、定住促進などを含めた総合的な施策の展開が必要

●視察先：岡山県笠岡市、京都府綾部市 ●目的：線引き廃止について

笠岡市 市長のリーダーシップの下、庁内のプロジェクトチームで調査研究が重ねられ、平成21年4月に線引き廃止に至った。廃止直後は、宅地造成や小規模工場建設が増加するなど、人口減少のブレーキ効果が見られたが、次第にその効果は薄れてきていた。今後は、線引き廃止だけでなく、定住促進などを含めた総合的な施策を展開していくことが必要である。

綾部市 市街化調整区域内の開発規制や宅地不足が問題となる中、平成28年5月に線引きを廃止した。その過程には、議会のフォローアップ、市の部門を超えた目的意識の醸造と協力、アンケート調査や説明会を通じた市民の理解などがあった。湖西市においても、全市一体となって人口対策について検討していくことが非常に重要であると感じた。



▲岡山県笠岡市にて

議会運営委員会

8月1日～2日

市民が参画する議会運営を参考にしていきたい

●視察先：三重県亀山市、四日市市 ●目的：議会運営及び議会改革について

議会基本条例施行2年目にあたり、市民との関わり方や議会基本条例の見直しを含め、議会運営改善を図るため、議会改革先進地へ視察した。

亀山市 平成22年8月に議会基本条例を施行。継続的に議会改革を推進するため、平成23年8月に全議員による「議会改革推進会議」を設置。また推進会議内に議会基本条例の条文ごとに抽出した課題を協議する検討部会を設置し、その内容をホームページで公開している。

四日市市 平成23年3月に議会基本条例を施行。議会活動の充実を目指し全議員による「議員政策研究会」を設置。市行政を取り巻く課題についての意見交換や共通認識が図られている。また、議会への参加を促す取り組みとして、市議会モニター制度や議案に対する事前の意見募集などが実施されていた。特に市議会モニターについては四日市大学の学生が参加しており、若年層への働きかけが積極的に行われていた。

両市ともに議会基本条例の制定後も調査研究し、市民が参画する議会運営が行われていた。湖西市議会においても「市民が主役で、活発な議論をする、見える議会」をより一層実現するため、市民と向き合う姿勢を示さなければならないと強く感じた。



▲三重県四日市市にて

広報広聴特別委員会

8月4日～5日

テーマを設けた意見交換会や市民が関心を持つような情報発信など、先進地の事例を取り込んでいきたい

●視察先：京都府亀岡市、福知山市 ●目的：広報広聴活動について

亀岡市 広報広聴会議を組織し、幅広く活動が展開されており、会議のインターネット中継やフェイスブックなど市民を意識した活動が印象的であった。「わがまちトーク」では、「テーマ」を設けた意見交換が行われ、散漫にならず、充実した意見交換が行われているとのことであった。

福知山市 議会報告会「市議会と語ろう」では、婦人会や商工会青年部など各種団体との意見交換による広聴活動が行われていた。また、議会広報充実のため、本会議や予算決算審査、請願審査のほか、役職議員選出にかかる所信表明会、委員会審査、行政視察研修報告会の様子などがライブ中継・配信されており、多くの市民が議会と市政に関心を持つよう多様な広報手段がとられていた。

より充実した広報広聴活動を推進するため、テーマを設けた意見交換会や市民が関心を持つような情報発信など、先進地の事例を取り込んでいきたい。

亀岡市議会フェイスブックの投稿より▶



総務経済委員会

8月24日～25日

男女共同参画推進は全庁的に取り組む課題であり、推進体制整備が必要

●視察先：埼玉県越谷市、川口市 ●目的：男女共同参画推進について

越谷市 施策の総合的な企画調整を行うため、市の各部署の代表をメンバーとする「男女共同参画行政推進会議」を設置し、事業の推進が全庁的に行われていた。湖西市においても、男女共同参画に関する施策がどの領域にも関係する“全庁的に取り組む課題”であることについて市役所全体の意識を高めていくことが必要であり、さらなる推進体制整備の必要性を感じた。

川口市 男女共同参画推進条例を平成24年4月に施行し、推進を図っている。条例は基本となる18条の条文で整理され、運用や推進活動など細部については規則や要綱に委ねている点の特徴である。また、男女共同参画苦情処理委員制度を設け、適切な処理ができる体制が確立されており、今後の検証において大いに参考となった。

男女共同参画について全国でも先進的に取り組んでいる埼玉県の両市を視察し、男女共同参画推進条例の条文や内容を調査した。湖西市議会では同条例(平成27年4月施行)の見直しについての附帯決議を可決しており、今後、見直しについて提言を行っていく予定である。

埼玉県越谷市にて▶



市議会からのお知らせ

無料スマホアプリの名称が 変わりました

「i広報誌」から「マチイロ」へ

「マチイロ」を使えば、「こさい議会だより」をスマートフォンで読むことができます。

(※別途通信料が掛かります。)

利用方法

- ① 右のQRコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を「湖西市」に設定



● 12月定例会の予定 ●

- 12月19日(月) 10:00～ 本会議第1日
- 26日(月) 10:00～ 本会議第2日(一般質問)
- 27日(火) 10:00～ 本会議第3日(一般質問)
- 1月 6日(金) 10:00～ 本会議第4日
- 10日(火) 10:00～ 総務経済委員会
- 11日(水) 10:00～ 福祉教育委員会
- 12日(木) 10:00～ 建設環境委員会
- 16日(月) 10:00～ 本会議第5日



予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

政務活動費の 報告について

平成27年度の湖西市議会政務活動費に関する書類を、つぎのとおり閲覧できます。

- 閲覧日時 午前8時30分から午後5時15分まで(土日、祝日を除く)
場 所 湖西市議会事務局(市役所3階)
対 象 収支報告書などの写しや主要な調査研究活動の内容を記載した書類など

※議員ごとの収支報告の概要は、ウェブサイトへ掲載しています。

………議会傍聴に来ませんか?………

- どなたでも傍聴できます。
- 当日、市役所3階議会事務局へお越しください。
- 予定が変わることもあります。事前に議会事務局(TEL.053-576-4791)へお気軽にお問い合わせください。

傍聴にこられない方も市議会の様子をご覧頂けます。

▶ 浜松ケーブルテレビ チャンネル・ウィンディ

本会議の一般質問が、浜松ケーブルテレビ「チャンネル・ウィンディ」で放映されます。

▶ 湖西市ウェブサイト インターネット放送

本会議のインターネット放送(生中継・録画)を市のウェブサイトからご覧になれます。



注目

議会運営に役立てるため、議会に対する意見や傍聴の感想などをお寄せください。郵送・ファックス・Eメールで受付しています。

編集後記

1年が経つのは早いもので、気が付けば11月。2016年を振り返ると、甚大な被害をもたらした熊本地震、初となる女性東京都知事の誕生、世界中に感動と興奮を与えたリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックなど、様々な出来事がございました。

さて、湖西市議会では、本9月定例会で平成27年度各会計決算の認定を行いました。私たち議会だより編集委員会は、市民の皆さまから広くご意見をいただき、議会活動をより分かりやすくお伝えできるよう、創意工夫を重ね、紙面の充実に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

(加藤 弘己)

編集委員

(◎は委員長、○は副委員長)

- ◎二橋 益良 ○加藤 弘己
- 福永 桂子 菅沼 淳
- 土屋 和幸 高柳 達弥
- 佐原 佳美 神谷 里枝

今回は

2月28日 発行予定です

